



SWIFTの活用について

スイフトジャパン
2009年10月30日

SWIFTの実績と概要

歴史

- 1973年に15カ国の239金融機関により創設
- 決済取引の処理センターを開発・提供
- 安全性・信頼性・常時可用性を追及

ノウハウの蓄積

- 世界200カ国超、8,800以上の金融機関にサービスを提供
- 資金決済、証券決済、市場取引決済、貿易
- コスト削減、連動処理向上、リスク管理

中立性

- 共同組合形式による、ユーザーがオーナーの組織
- オーバーシーヤーとして複数の中央銀行が関与
- システムを通過するメッセージは全て公平に取り扱われる

技術

- 転送方式(FIN)、ファイル転送(FileAct)、リアルタイムの照会・応答(InterAct)といったメッセージング機能を提供
- 技術基盤はオープンテクノロジーの標準に準拠
- 複数の通信会社を利用したIP-VPN



SWIFT ご利用状況 (2008年末現在)

年間38億件メッセージ(2008年)

8,830ユーザー

209ヶ国

ピーク日 17.8 百万メッセージ(10月15日)



日本の状況

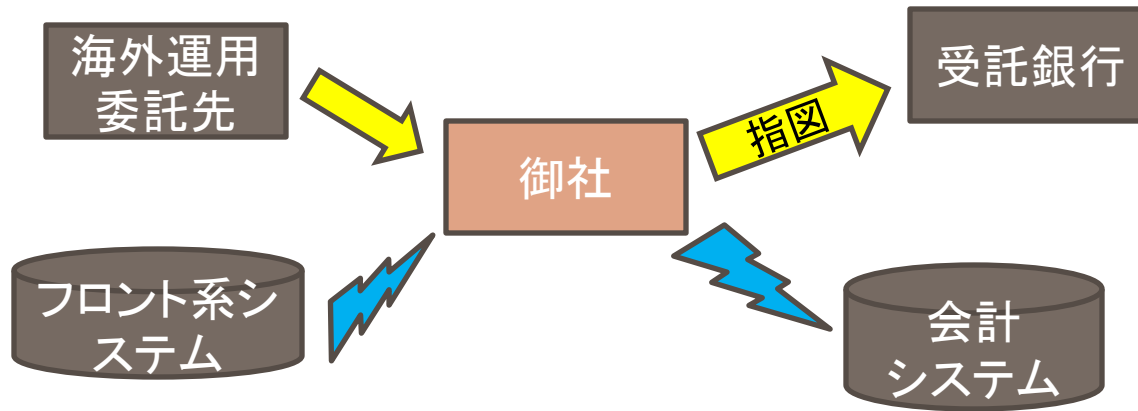
- 日本はボリュームで世界第9位
- 証券系のメッセージは、全体の約6割を占める
- 2008年末時点で日本のユーザー数は、259(全体8,830)

Top 25 FIN countries

Rank based on traffic for all users in the country

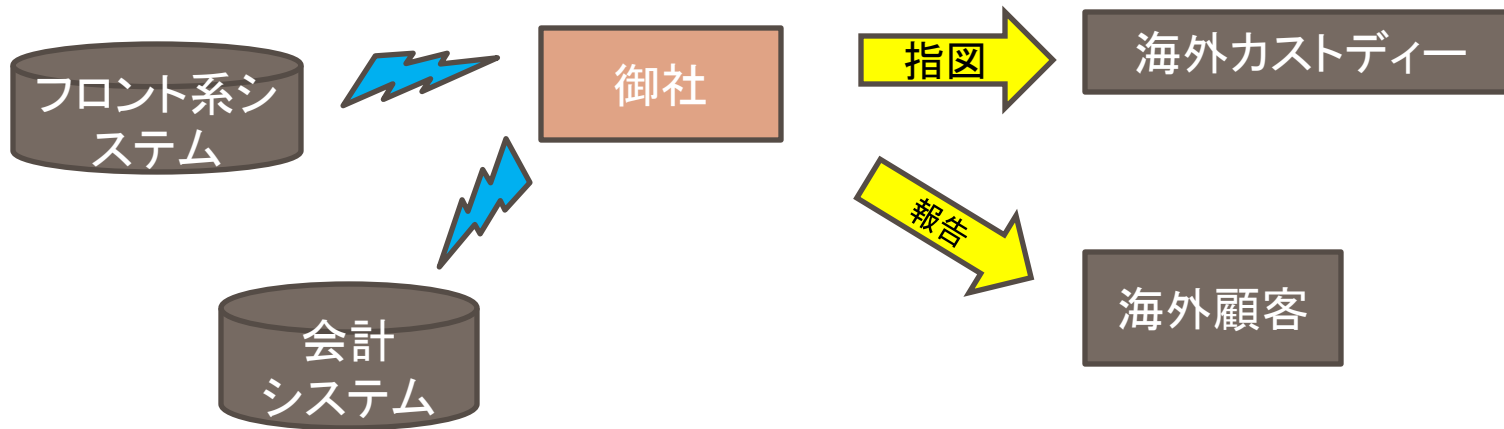
	Traffic (millions)	Growth	Share
1 United States	684.50	11.8%	17.2%
2 United Kingdom	657.08	12.0%	17.0%
3 Germany	326.43	1.9%	8.5%
4 Belgium	266.93	17.0%	6.9%
5 France	179.83	8.5%	4.7%
6 Switzerland	131.87	7.4%	3.4%
7 Netherlands	130.03	-2.1%	3.4%
8 Luxembourg	122.53	7.9%	3.2%
9 Japan	120.88	8.9%	3.1%
10 Italy	113.13	-10.5%	2.9%
11 Australia	81.04	18.8%	2.1%
12 Sweden	68.43	19.3%	1.8%
13 Spain	67.75	14.5%	1.8%
14 Hong Kong	63.91	5.7%	1.7%
15 South Africa	58.41	10.7%	1.5%
16 Norway	57.64	36.3%	1.5%
17 Canada	56.54	11.8%	1.5%
18 Finland	52.34	18.9%	1.4%
19 Singapore	47.32	11.5%	1.2%
20 Denmark	47.28	27.2%	1.2%
21 Austria	42.04	-2.7%	1.1%
22 Russia	28.82	18.0%	0.7%
23 Korea, Republic of	28.65	9.2%	0.7%
24 China	20.97	14.0%	0.5%
25 Ireland	20.87	-0.9%	0.5%
Others	399.35	13.5%	10.4%
Total	3,854.58	10.1%	100.0%

証券約定 その1 国内顧客マンドレート(含むデリバティブ)



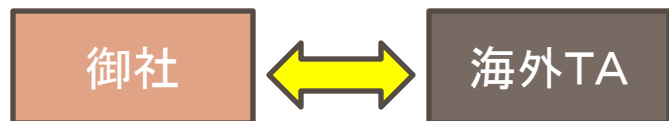
- 海外運用委託先の約定内容をSWIFTで受信し、御社が中継し、受託銀行に指図
- 社内運用分を海外委託先分同様にSWIFTで受託銀行に指図
- 海外運用委託先分、社内運用分のデータを加工し、会計システムに約定をアップロード
- 約定ConfirmationをBrokerよりSWIFTで受信し、約定照合

証券約定 その2 海外顧客マンドレート(含むデリバティブ)



- 約定内容を海外カストディーに対しSWIFTで指図
- SWIFTで約定内容(残高)を顧客に報告
- 約定ConfirmationをBrokerよりSWIFTで受信し、約定照合
- 顧客と御社の間に、中間業者が居る場合、中間業者に対しても、顧客と同内容の報告要請を受けるケースも。

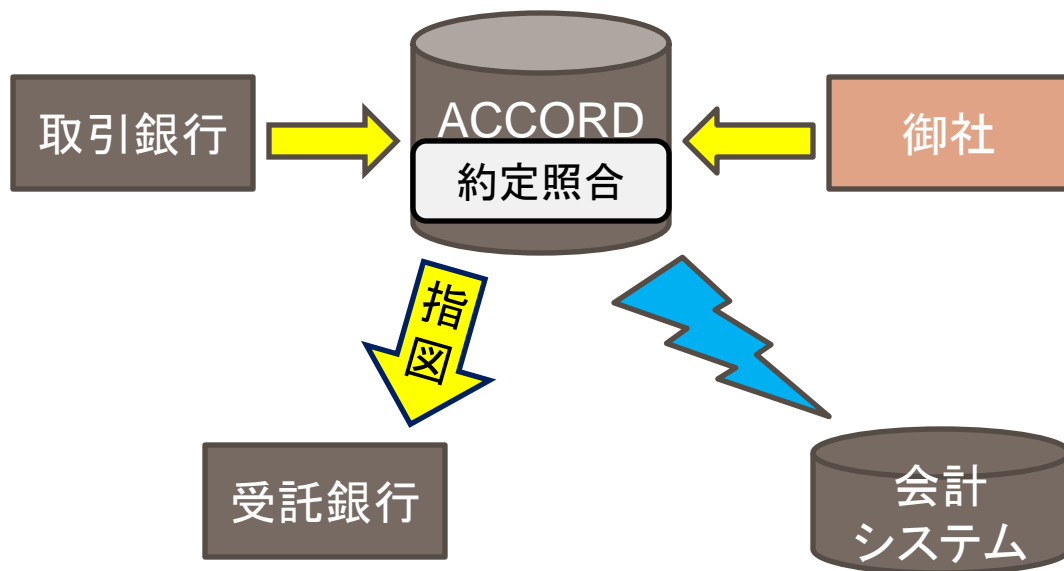
証券約定 その3(外国籍投信)



- FAX、e-mailで行われている外国籍投信(公募)の業務がSWIFT上で可能
 - 設定・解約注文
 - NAVレポート
 - 設定・解約に伴う、資金繰り
 - 残高通知
 - 取引通知等
- 私募(ヘッジファンド)に関しても、ダブリンのヘッジファンド関連業者が核となり、統一業務取扱ルールを策定。多くの業者が採択を決定している
 - 年央より、数社がPILOTとなり、SWIFTでの実務を開始する。



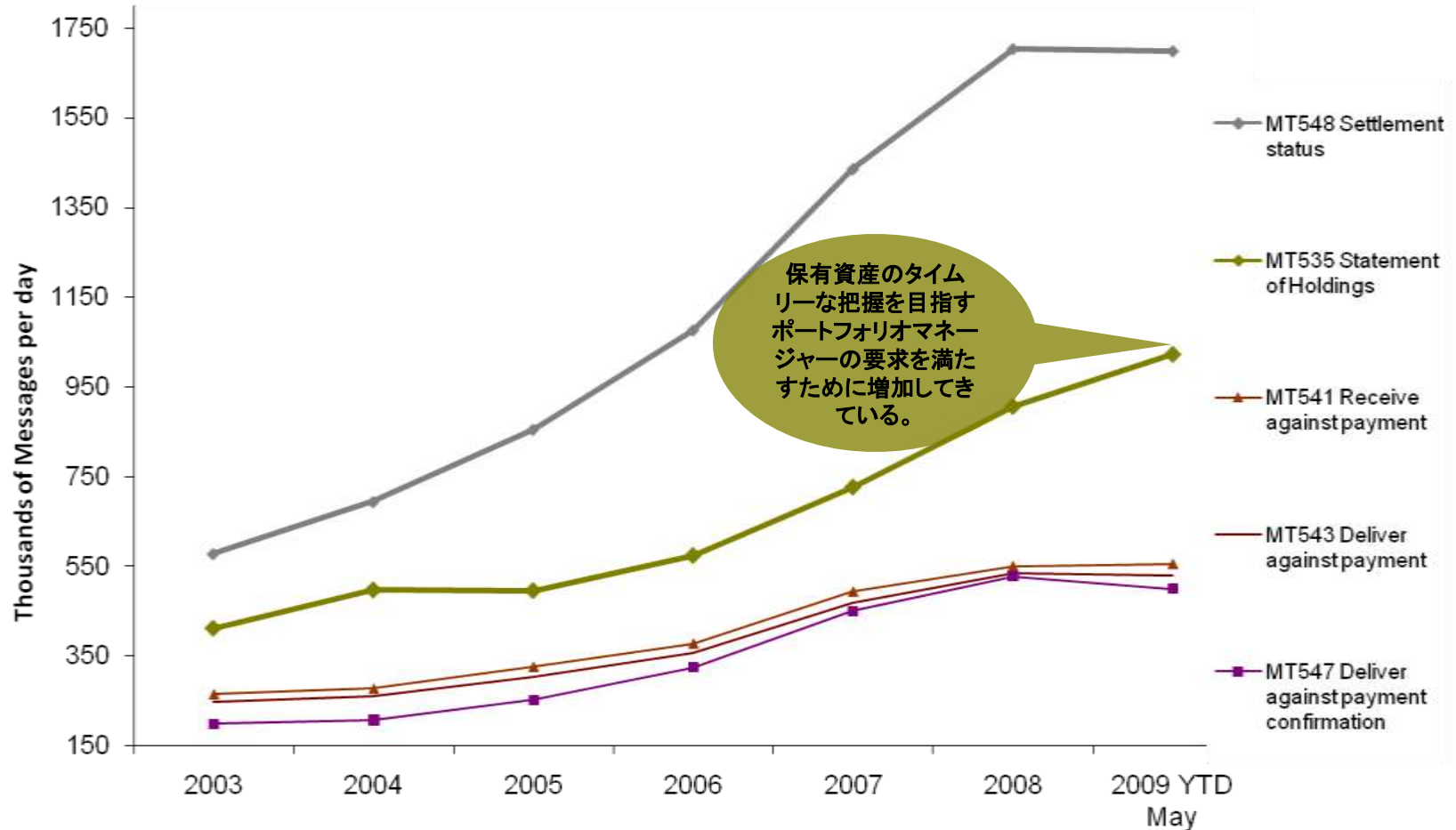
為替取引



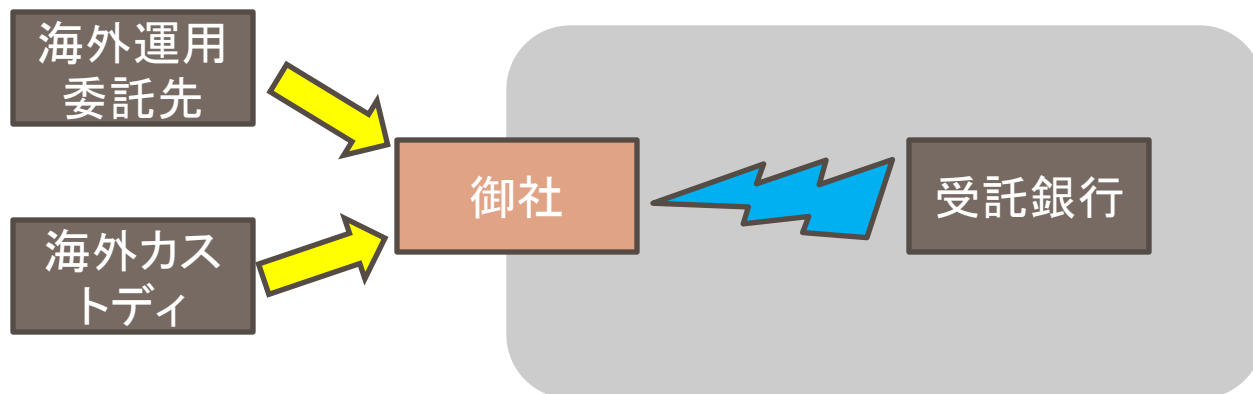
- 照合エンジン(ACCORD)を使用することにより、為替約定の自動照合が可能
- 照合後、受託銀行にSWIFTで指図、データを加工し、会計システムに約定をアップロード
- 為替ヘッジを用いたファンドの事務軽減に有効

2009年 MT535は大きく増加

Top 5 Securities MT Average Daily Volumes

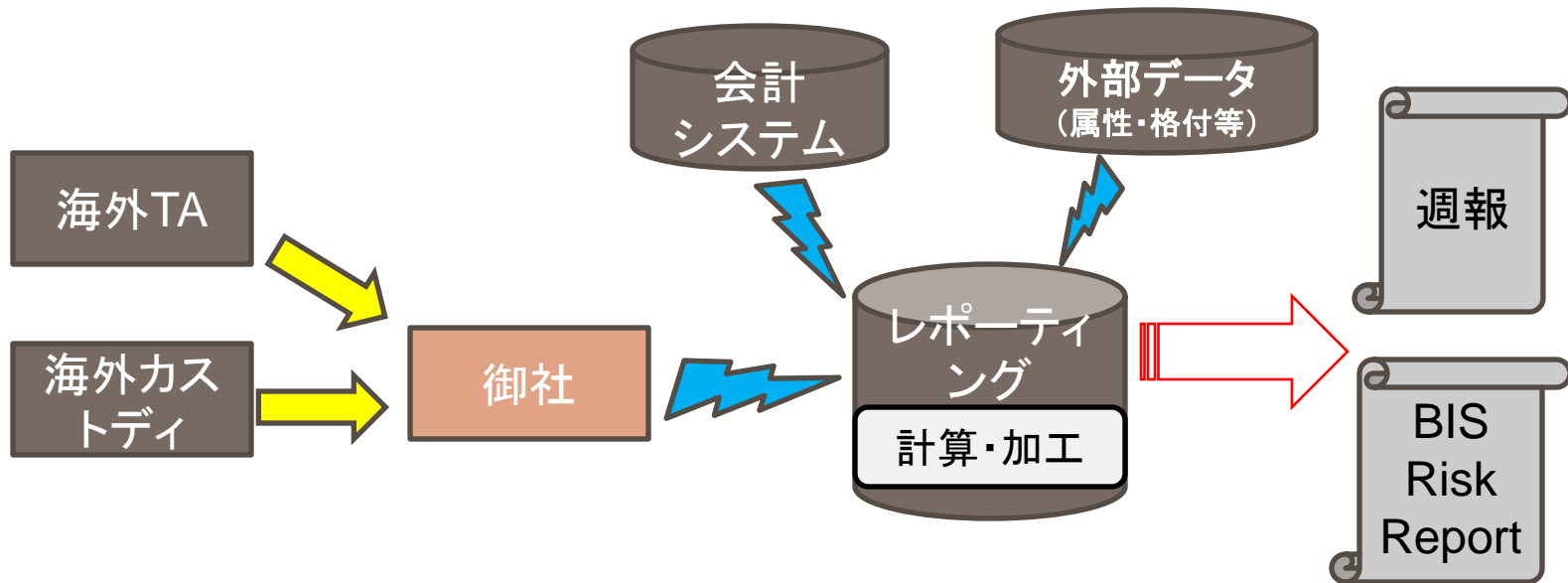


レコンサイル



- 海外運用委託先 vs. 御社
- 海外カスタディ vs. 御社
- (受託銀行 vs. 御社 受託銀行はSWIFTでの残高データの発信を行わない為、別システム経由となります)
- 3系統のレコンサイルを包含するツールの構築でレコンサイルプロセスを自動化

SWIFTデータの応用 レポートティングでの活用



- 受信した残高データを他の社内データと集計・加工するツールの構築により、
週報等の運用報告書の作成
BISのリスクレポートの作成等の作業の自動化も可能に